校友時報

昭和48年12月21日
編集人兼発行所
秋田県能代市追分町4番26号
秋田県立能代高等学校新聞部
印刷所　大勝堂印刷所

部説

問題ある伝達方法

近頃、街角で時集等の機関誌を売っているのを見かけることがある。しかし、単に売っているのであれば、ここで取り上げる程のものではない。この機関誌を若者が、通りかかる人に自分達の売る機関誌について、一生懸命説明して、且それで満足した人は買い、そうでない人には強制しない。（考えてみれば当然のことであるが、その他この種のことで街頭で活動している人達を見ていると、多分に半強制的に買わせているということがあるから）この種の時集等は校内においても、有志によって自主制作されたものが発行されている。前者のことだが、この寒さの中、手を真赤にしてまで買ってほしいということを呼びかけているのは『自分達を主張したいのだ』と説明する。そしてその機関誌（後者も含む）の清純な夢、社会に対する不満等を直接的、間接的に詩化しているのを読むと、現世の余りにも汚れた社会への、限りない抵抗のように思われるのである。言うまでもないが、このような活動をしている人は、けっして利潤を上げようとしているのではない。（発行物を読めば、一目瞭然）主張しているのだ。この若者のような、極めて積極的な活動によって、自分たちの主張というものは貫き通されるものだと痛切に感じた。

それに反して（という言葉になってしまうが）、我校の生徒会活動はどうだろう。その時任せといった風潮が、今だに脱げきっていない。また、『伝統だから…』という保守的な考え方からも完全には脱皮していないようだ。このような傾向は、文化祭を行なう時に現られる。夏休みが終り、後一カ月に迫って、あわてて実施計画をたて、開催後に、不満な点に気付き反省する。（この中の主なものに、各テコに対する予算配分の遅れがある。）また、生徒会の伝達方法が掲示板を使ったり、用紙を学級に掲示するだけに止まっている。このことは、前述した若者による積極的な活動に比して、極めて消極的な活動と言わざるを得ない。

現況の生徒会で即座に気付くのは、学校放送の利用不足である。学校放送機関は学校の飾り物ではないのだ。また、生徒会（執行部）の内面的怠惰が生徒に伝わらない面もある。これは、伝達機構の改善で容易に解消できる。このたびの国会での真摯の中で、この石油不足による電力不足の解消策として、原子力発電がある。しかし、政府は新幹線のような安全性を訴えるP・Rが足りないから、土地の人達は発電所の設立に反対すると言っていた。こういうことは、我々の生徒会にも言えよう。前に述べた伝達方法にも関連するが、もっと自己P・Rが必要でないだろうか。

今までいろいろと生徒会執行部側について書いてきたが、生徒会を自分達の自治の最高組織と自覚して、協力しなければならない責務を負っていることを忘れてはならない。

物価の高騰

このごろ、異常なほど物価の高騰が起っている。紙類・砂糖をはじめとして、ありとあらゆるまわりの物価が上がっている。中には、二倍以上の値段になっているものさえある。とにかく、生活必需品の何割かは、確実に値上がりしているというこの実態をどう見たらよいのだろうか。また、この物価高が、我々にどんな影響を与えるか、考える必要がある。

紙類大幅値上げ　インフレの渦

まず、冬であるので石油の問題から入ってみよう。今現在、配達込みで、十八リットル当百五十円である。しかし四畳半用のストーブで一週間もつか、もたないかである。その石油危機の時代でもあるから、値段もあがるのは当然でもあろうが、値段の統制をしても値下がりしないのは政府が悪いのか、はたまた消費者が悪いのであろうか。

次に紙の問題である。千枚五百円の西洋紙が千円になっている。いつの間にか、二倍になってしまった。いわゆる紙製品、トイレットペーパーとかノート、レポート用紙、校友時報用の新聞紙等々、まず、あらゆるものが倍近い値段になっている。我々は、小遣いを削って買わなくてはならなくなった。つまり、我々の生活は日々に苦しくなっているわけである。

それに追い撃ちをかけるように鉄道運賃の値上げ、下宿料の値上げがせまっている。これは結局はインフレにも通じることである。

物がないのではないそうだ。ただ、消費者が踊りされて、それで値段が上がっているのであるという。新校舎の建設資材の値上がりによって、まだ遅れはないものの、これによって、予算の不足が予想されている。

我々がこれらの問題の解決に協力できるとは思わないけれども、この世の中のないものにも変らないようにしたいものである。

学生のみせ　畠町　キムラヤ　2—5535

学校祭に欠ける備準の確実さ　全員参加ならず

さる九月二十八日、二十九日、三十日に渡って能高祭が行われたが、今回は、進行上の不手際が目立っていたと言える。まず、映画上演がなかなか決まらなかった。また、フォークダンス用のピーカーの故障等があげられる。これは、進行係の執行部の準備の不完全さが問われる。

我校においては、全体的に学校祭の準備というものをあまりにも軽視しすぎている。毎回ごとに練習不足とか、準備が不完全であるという状態である。

これは、伝統とかということばで置き変えることなく、全力を注いで準備に取りかかってほしいものである。学校祭の一、二週間前では、前例にもわかるように不完全状態になる。我々の学校祭であることを新しく自覚することが望まれる。

今回は、テーマがなかったということで、あらゆるクラブ、テコ、クラス、テコは自由に行なえた。そして、それらテコのテーマにおいて充実さは欠けていたと言える。何はともあれ、飾り立てをすればいいんだ、という投げやりの考えに基づき、何の意味も持たないという学校祭とも言える。観覧者にはテーマなしの学校祭で異様さを与えた。テーマなしの学校祭が行なわれ、テコ全体の催し物に何の共通点もなく、通り一ぺんに公開されたということがそれを強くした。

異様なのは、確かに異様なのである。今回の学校祭においてもあきらかのように学校全体に盛り上がりもなく、全員が参加したわけではない。仕事は各自に分担されていただろうが、準備において、これらが支障を来したものと見られる。

このような事は、今に始まったものではない。学校祭行事を始めとして生徒会行事には、働く者と働かぬ者とがあきらかである。こゝ多分に直視すべきである。

団体見物？　—修学旅行記—

さる九月二十八日、二十九日、三十日に渡って能高祭が行われたが、今回は、進行上の不手際が目立っていたと言える。まず、映画上演がなかなか決まらなかった。また、フォークダンス用のピーカーの故障等があげられる。これは、進行係の執行部の準備の不完全さが問われる。

我校においては、全体的に学校祭の準備というものをあまりにも軽視しすぎている。毎回ごとに練習不足とか、準備が不完全であるという状態である。

これは、伝統とかということばで置き変えることなく、全力を注いで準備に取りかかってほしいものである。学校祭の一、二週間前では、前例にもわかるように不完全状態になる。我々の学校祭であることを新しく自覚することが望まれる。

今回は、テーマがなかったということで、あらゆるクラブ、テコ、クラス、テコは自由に行なえた。そして、それらテコのテーマにおいて充実さは欠けていたと言える。何はともあれ、飾り立てをすればいいんだ、という投げやりの考えに基づき、何の意味も持たないという学校祭とも言える。観覧者にはテーマなしの学校祭で異様さを与えた。テーマなしの学校祭が行なわれ、テコ全体の催し物に何の共通点もなく、通り一ぺんに公開されたということがそれを強くした。

異様なのは、確かに異様なのである。今回の学校祭においてもあきらかのように学校全体に盛り上がりもなく、全員が参加したわけではない。仕事は各自に分担されていただろうが、準備において、これらが支障を来したものと見られる。

このような事は、今に始まったものではない。学校祭行事を始めとして生徒会行事には、働く者と働かぬ者とがあきらかである。こゝ多分に直視すべきである。

食堂値上げす

前号の校友時報紙上においても報道されたが、食堂が値上げになった。このことは、誰でも知っている。この物価の急上昇により、前々から経営難を訴えていた食堂側から見ても、また、我々の目からもこの現状は予測されたものである。が、我々生徒にとっては、値上げは身にこたえる。二回以上の値上げはがないように、食堂側に苦情を言うよりも政府の物価経済政策に、改善を加える必要があるのではないだろうか。

それに踊らされているかぎり、日本は動揺するであろうし、インフレに向って直進することになると思う。

激点

▼ものすごいインフレ状態、だが、三年生にはただひたすら勉強あるのみ。新聞を開くと、あちらこちらでインフレ、石油危機が騒がれている。こんな中でもやはり三年生は大学目指して頑張る。その場、その時にあって我々の行動は異なっている。▼「頑張る」とは、なんと容易に用いられているのだろう。もっと慎重なものであると感じる。何かにつけては、なにか少し頑張れば、頑張ってるぜ等々、もったいない。まして、「思う」などは何につけても通用する。人によっては、ことばに好き嫌いがあるのではないだろうか。だからその使用言語でその人の性格が意外にわかるというものである。▼正門通りに並んでいるプラタナスの木が何本立っているのかを知っている者はいるだろうか。毎日毎日、登下校をしてプラタナスの木の数をかぞえた者はいるだろうか。という俺も数えたことはない。ちょっと気を付けて眺めてもいいからたものである。別に正門にポプラの木が何本あるのか、北高のテニスコートのうえに木が何本あるか、知らなければ、一生の不覚であるというのではない。ただ、生活上では、ちょっと細かに注意を払うという気持ちがたまに大事であろう。そうすれば、もしかして、灯油と石油ストーブのまわりに平気で西洋紙を置いたりはしないのである。▼セリカの車のコマーシャルに出るひとりの男の笑いには、大きさとのんきさを感じる。大自然の海に向かって大笑い口を大きく開けて笑う。海と同じ、もしくは、海に負けない度胸を感じさせられる。あれは、車のコマーシャルであるが、人間と大自然の調和を感じるのである。▼ある面では、こんな事でもいいのではないだろうか。俺にはなにこうして生きているのはわかるが、これからこうして生きているのかはわからないのである。

ニシマキ　ニシマキ
写真工房
中和通り　TEL 2—0068

MEN'S CORNER
TOP
のしろ・やなきまち6-19 TEL 2-0431

メガネの　カモヤ
畠町　TEL (01855) 2—3740

X'　プレゼント用品がイッパイ！
学生の店　文具のアベ
能代市北高通　TEL ②—5311代

PANTS☆☆SHOP
幸和服

本校指定
フルーツパーラー
カスミ
柳町　TEL 2—5713